

令和5年度上大久保中学校だより

上中だより

第5号

令和5年8月29日(火)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 Tel.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

2学期スタート!!

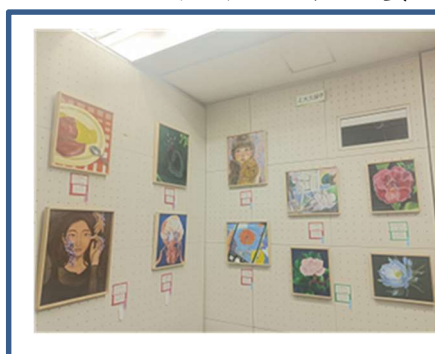
校長 高久 正行

本日、授業日数80日の年間で一番長い2学期が始まりました。体育祭や合唱コンクールのような学校全体で取り組む行事が控えており、また、11月には2年生がさいたま市中学生職場体験「未来(みら)くるワーク体験」を実施いたします。生徒がより一層充実した生活を送れるよう我々教職員一同尽力してまいりますので、保護者・地域の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をお願いいたします。

この夏休みは、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、コロナ禍以前の生活が随所で見受けられました。観光地等の賑わいや、各種イベントの再開、外国人観光客の増加に加え、私自身一番実感できたのが甲子園で行われた高校野球の声出し応援でした。上中付近でも各自治会で夏祭りや盆踊りが開催されたことで、上中生も久々に伝統的な夏の行事を体感できたのではないかと思います。

その一方で、連日の猛暑による熱中症への懸念、台風をはじめとした自然災害による多大な影響等、これまでに以上に地球全体の環境について真剣に考えていかねばならないのではと考えさせられました。このような中、過日、本校PTA主催の地区懇談会において防災について地域の皆様と意見交換を行うことができました。また、9月1日には、竜巻と水害を想定した避難訓練を予定しております。4月に実施された全国学力・学習状況調査の質問紙調査(中学3年生対象)において、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒は66.3%(全国平均63.9%)を占めました。本格的な台風シーズンを迎えるにあたり、学校としても防災についての意識を高めていきたいと考えております。

さて、8月24日に、市立学校の児童生徒代表、大学生、教職員、地域団体、関係機関が一堂に会し、「いじめ防止シンポジウム」が開催されました。その中で、「さいたま市子ども会議」で決定された「心を元気にする4つの言葉『大丈夫(大丈夫?)』『また明日』『自分を信じて』『ちょっとずついいよ』」が紹介されました。また、さいたま市教育委員会委員 武川 行秀 氏(ゴダイゴのメインボーカル)による「Resilience~最後まで諦めず、続ける力~」と題した講演、パネルディスカッションでは「失敗しても諦めず、続ける力」と題しての意見交換が行われました。この3年間、コロナ禍の影響で、人と人との関りがなかなか深まらない日常が続いてきましたが、改めて、人と人との絆や思いやりの気持ち、また多少の失敗をしても目標に向かって諦めない気持ちを持つことの大切さを実感することができました。9月16日(土)に開催する体育祭には、「仲間と互いに協力し競い合う活動を通して、よりよい人間関係を培い学校生活をより豊かにする」「自己の持つ力を十分に発揮して競技に臨み、責任を持って役割を果たし、仲間や地域社会との交流を深める」という目的があります。学校行事を通し、生徒一人一人がお互いを尊重し協力し合いながら目標に向かって努力することがとても大切だと思っています。9月2日には、PTAをはじめ多くの地域の皆様に参加いただくことになっております。感謝の気持ちを持ちながら、純粋な気持ちで一つ一つのことに全力で取り組む上中生の姿を、保護者・地域の皆様にお見せできるよう準備を重ねてまいります。



さいたま市中学校美術部展が、8/23~25の3日間、さいたま市文化センターで開催されました。どの学校も力作揃いで見ごたえがありました。

左の写真は、本校生徒の作品です。さいたま国際芸術祭2023にも3作品が出展されます。